



2025.5. No.69

春季号



わあ～綺麗だね～
(特別養護老人ホーム 桜井の里)



近所の桜までお花見散歩
(生きがい広場地蔵堂)



桜を見にドライブへ
(小規模多機能ホーム こいけの家)

皆様方のご厚情のおかげをもちまして、今年度を迎えることができましたこと役員一同心より感謝申し上げます。また、平成17年2月に開所した「デイサービスやひこ」はこの3月末をもち、その役割と使命を終え閉所になりました。長らくのご愛顧誠に有難うございました。今後ともご利用者、ご家族のご意向に添う介護、サービス提供を目標に地域貢献に邁進する所存です。

さて周りを見渡すと、全世界を巻き込んでの景気後退、日本国内での止まらぬ物価高騰、加速する少子高齢化は私たちの日常生活にひしひしと大きな影を落し込んでいます。そんな最中、私達は課題として二つを考えたおります。そのひとつは、当法人の各事業一つ一つが地域に根ざし、ご利用者に本当に必要とされているかを見直すことです。これは介護を主業とする私達の姿勢や資質、そして、その存在意義が問われる時代になったことにも起因しています。地域の実情を踏まえそれに見合ったサービスを提供しているか、それこそが法人の存在意義です。

そしてもうひとつは、職員にとって、仕事の生産性を高め、働きやすい職場環境を整えることです。今後は人材確保がより困難となる中、介護の提供に支障を来すことだけはあってはなりません。そのためにも職員が「夢とやりがい」を持ち続け、待遇・労働条件を含む職場環境の整備と向上が人材の定着につながり、同時に職業選択の際の重要な条件となるはずです。

最後に、昨春オープンした地域活動の拠点「みんなの居場所くらつと」は、丁度一年が経ちます。開所当初に比べると乳幼児の笑い声や時には泣き声も混ざり合い、イベントの開催毎に賑やかになっております。どなたでも大歓迎ですので、皆様気軽に手ぶらでお越し下さい。



地域食堂の様子



社会福祉法人
桜井の里福祉会
業務執行理事・事務局長
高橋 学

「デイサービスやひこ」長らくの
ご愛顧心より感謝申し上げます

■桜井の里拠点 新潟県西蒲原郡刈羽村大字敷3036番地 TEL (0256) 94-3939
●特別養護老人ホーム桜井の里 ●特別養護老人ホーム桜井の里・絆 ●グループホームこいで
●デイサービスセンター桜井の里 ●小規模多機能ホームやひこの家 ●グループホームついでの家・桜町
●ケアプランセンター桜井の里 ●寄居村地域包括支援センター ●グループホーム我が家 ●グループホーム緑
●小規模多機能ホーム桜井の里・あかつかの家 ●ケアプランセンター桜井の里・あかつか

■分水の里拠点 新潟県燕市新堀2479番地2 TEL (0256) 97-7111
●特別養護老人ホーム分水の里 ●デイサービスセンター分水の里さくら ●訪問看護ステーション・桜井
●ケアプランセンター分水の里 ●燕市生活支援ハウス分水こどもり ●生きがい広場地蔵堂・デイサービス
●さくらい ●ダイニング ●みんなの居場所くらつと

■地域密着型サービス拠点 新潟県燕市横田9349番地1 TEL (0256) 47-1222
●地域密着型ユニット型介護福祉施設はな広場・しまかみ ●グループホームついでの家・桜町
●小規模多機能ホームはな広場・よこたの家 ●小規模多機能ホームついでの家 ●グループホーム我が家 ●グループホーム緑
●小規模多機能ホームこいけの家 ●小規模多機能ホームこいけの家

当法人ではご利用者のプライバシーに配慮するとともに写真の掲載の際には事前に了解をいただいております

桜井の里 たより

令和7年度 桜井の里運営方針



特別養護老人ホーム 桜井の里
施設長 齋藤 由紀子

齋藤 由紀子

4月より桜井の里の施設長に就任いたしました齋藤由紀子です。ご本人の声をよくお聴きし、ご家族や地域の皆さまのお力も頂きながら、法人理念であります「もうひとつのわが家づくりをめざします」を職員と一緒に目指していきます。そして「桜井の里があつて良かった」と言ってもらえるよう努めてまいりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

平成17年2月に開設し19年事業を続けてきましたデイサービスやひこを、令和7年3月31日をもって閉鎖させて頂きました。たくさんご利用者やご家族、地域の皆さまから支えて頂き、本当にありがとうございました。桜井の里を取り巻く状況も年々変化しております。時代の変化に適応しながらも、法人のケアの考え方を基本とし、常にご利用者主体の実践を続けていきます。

閉鎖となったデイサービスやひこの施設へは、ケアプランセンター・桜井の里の事務所が移転しました。介護が必要な高齢者の在宅生活を支える相談窓口として、より地域に身近な場所となるよう、努めていきます。昨年度より少しずつお祭りやボランティア様の受け入れなど、地域との交流を再開してきました。また、事業所内で複数の感染者が発生していないことを原則とし、お部屋までの面会や外出・外泊も行ってまいります。今後多くの方から桜井の里に来て頂き、工夫をしながら様々な形での交流の輪が広がるよう取り組んでいきます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度

地域生活支援施設

桜井の里・あかつか

運営方針



管理者・主任
青田 陽平

地域生活支援施設桜井の里・あかつかは平成29年に開設し、8年目を迎えております。

日頃よりご利用者やご家族、地域の皆様にはご理解と、温かいご支援をいただき、誠に感謝しております。

桜井の里・あかつかでは、「地域で暮らす人の想いを大切にし、その想いを実現するためのパートナーとして共に暮らします」を行動指針に掲げ、地域における役割が発揮できるように努めてまいりました。昨年度は「桜井の里・あかつか夏祭り」に地域の皆様から多くのご参加をいただき、その他の行事をはじめとした様々な場面でも近隣のこども園、小学校、中学校との交流を深めることができました。

開設以来活動が続けてきた「あかつかりんカフェ」や「セーフティースタッフ活動」も大切に継承しつつ、ご利用者の皆様の主体とした新たな地域交流の形も作り上げていければと考えております。

小規模多機能ホーム 桜井の里・あかつかの家



子供たちをお見送り～



ありがとう～

桜のメダルを首にかけてくれました

佐潟ヘドライブへ行きお花見をしてきたり、お花見弁当や手作りの桜餅、お雛様のお菓子などおいしいものをたくさん食べました。近所の保育園を卒園する子どもたちへ手作りの記念品をプレゼントし、そのお礼に来園してくださり桜の形のメダルをいただきました。



桜が満開でした



佐潟でお花見、気持ちいい



佐潟を跳めてきました

小規模多機能ホーム やひこの家

やひこの家では、みたらし団子を作りご利用者のみなさんで召し上がりました。天気の良い日に桜や菜の花を見にドライブへ行きました。

団子いっぱい丸めるよ



菜の花がキレイだね



菜の花のお花見



皆で作った
お団子
美味しいよ



お花見

今年は寒い日が続き開花が遅くなりました。皆さん、まだかまだかと待ちわびていましたが、やっと桜井の里の中庭に桜とチューリップなど春の花が咲きました。



中庭でお花見



素敵な笑顔です！



桜の前で記念撮影



春の花が咲いたよ



綺麗に咲いてるねえ



桜井の里の桜と一緒に



満開の桜の下で



お花見日和です



もふふふ
満開だね

日々の写真

ひな祭りなど季節を感じる行事をご利用者と一緒に行いました。



着物が似合いますね



御内裏様とお雛様！？



満開の笑顔です



美味しくなあれ



おはぎづくりを手伝っていただきました

分水の里

令和7年度 分水の里運営方針



施設長 坂井 真由美

分水の里は平成11年10月に開設し昨年で25年を迎えました。今年は26年目として新たな一歩を、ご利用者・ご家族・関係者の皆様、そして地域住民の方々のご理解とご協力をいただきながら、法人理念である「もうひとつのわが家づくり」をめざして職員全員が主体的に取り組み、そして皆様に分水の里から安心だと思い、信頼いただける施設・事業所づくりを目指していきます。

昨年より新型コロナウイルス感染症等を含めた感染症対策を行いながら、ご利用者、職員共に地域行事への参加やボランティアの受け入れを再開させていただいております。また施設内での面会やご自宅等への外出、外泊もコロナ禍前と同様に行っていたように必要な感染症対策を行わせていただき再開することができております。今後とも感染予防と状況に応じた判断・対応をさせていただく事で、ご家族や地域とのより良い関係を継続できるように努めてまいります。

分水の里では地域活動として、分水健康福祉プラザにて「フー・ドバンク・弥彦」「さくらい◇ダイニング」「みんなの居場所くふらっと」地域食堂ふらっと等の活動を行っております。今後も地域の方々足を運びやすい場所、いつでも行ける、また行きたい等、すべての方が自由に集い過ごせる居場所となることを目指し、これからもご利用される方々と共に作り上げて行きます。本年度も特別養護老人ホーム分水の里を宜しく願っています。

生きがい広場地蔵堂 デイサービス シアハウス



今まで以上に
センター長 宮路 昌

生きがい広場地蔵堂も令和7年10月で開設20年を迎えます。ご利用者、ご家族、地域の皆さまのご理解とご協力により、運営ができております。心より感謝申し上げます。

さて、生きがい広場地蔵堂は「今まで以上に」、あつて良かったと実感していただける事業所を目指してまいります。今まで、生きがい広場地蔵堂が大切にしてきた「地域とともに」「生涯現役」「心づくり」を基に、令和7年7月1日より、半日のご利用のデイサービスへと変更を行うことと致しました。

ご利用者の「〇〇がしたい」という思いを大切に、その思いが実現できるよう、職員が全力でサポートさせていただき、生活の幅が広がったと実感していただける取り組みに努めてまいります。「今まで以上に」生きがい広場地蔵堂をごさようしく願っています。

生きがい広場地蔵堂で生きがい作り

自宅ではなかなかできないことを生きがい広場地蔵堂では行っています。



みんなで麻雀



陶芸教室

生きがい広場地蔵堂お花見会

生きがい広場地蔵堂では、春らしいフラワーアレンジメントや近所の桜でのお花見会を行いました！



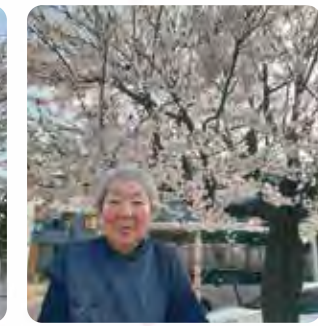
春の花でフラワーアレンジメント



屋上から大河津分水の花見



家の花壇のお花も咲くように市日で苗を買いました



満開の桜でお花見

お花見

春を知らせる桜や菜の花が咲き、分水の里では外出してすてきな桜と笑顔を写真に収めました。



今年も綺麗に咲きました



満開の桜の下で一枚



気持ちがいい春の日

おいらん道中

今年で80回目を迎える分水自慢のイベントに参加しました。



雨の合間に観覧できました



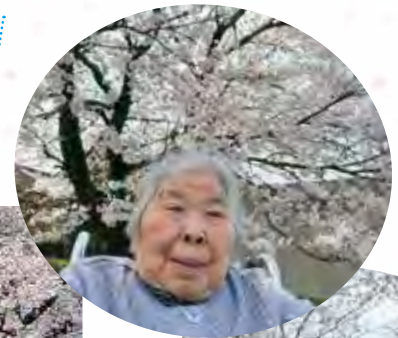
今年も変わらない優美な姿



笑顔も満開です



分水駅の見事な桜と記念撮影



高年齢者総合生活支援施設 はなだた場

令和7年度 はなだ場運営方針



施設長
片山 達也

はなだ場は平成23年9月に開設し、今年の9月に丸14年となります。コロナ禍を経て、面会・外出・外泊の制限も無くなり、やっと日常が戻ってきたように感じます。ただ、地域との繋がりは以前と比べて少なくなってきたと感じます。運営推進会議などを通じて地域の方々と繋がりを大切に、地域課題についても、はなだ場としてできることを具現化して取り組みたいと思います。また、ご利用者がはなだ場を利用することにより、これまでの生活の継続や自己実現ができるような場でありたいと思います。

また、生産性向上の取組みの一つとして、現在はインカムの導入、介護記録ソフトの導入を行っておりましたが、更に全居室に見守りヘッドセンサの導入を予定しております。ご利用者の夜間の安眠、日頃の健康管理にも繋がり、ご利用者の生活の質の向上を目指していきます。職員の働きやすい職場作りにも取り組んでまいります。

令和6年1月1日『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』が施行されました。「認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会」をビジョンとしており、地域密着型サービス拠点の各事業所についても共生社会の実現のために地域を支えそとして地域と共に歩む事業所運営を行っていききたいと思っております。今後も拠点内事業所同士が切磋琢磨し、相互に高めあえる関係をもちながら、地域に根差した運営を行っていきます。

地域生活支援施設

グループホーム つどいの家・桜町
小規模多機能ホーム つどいの家

つどい

令和7年度 つどい運営方針



地域密着型サービス拠点 副施設長
地域生活支援施設 つどい 管理者
山崎 秀則

地域生活支援施設つどいは、今年で開設から10年を迎えることとなりました。これもひとえに、ご利用者、ご家族、地域の皆様のご理解とご協力、そして温かいご支援とご感謝申し上げます。

これからも、つどいの基本理念である『住み慣れた地域で、いつまでも暮らしたい』を支援いたします。そして、ご利用者の地域との結びつきや暮らしについて考え支援の実践につなげていきたいと思っております。また、この数年で薄れてしまいました、地域交流についても地域活動に積極的に参加をし地域の一人としての役割が果たせるよう、職員一同取り組んでまいります。

今後ともご利用者、ご家族、地域の皆様から求められる事業所として期待にこたえられるように介護サービスの質を確保するとともに、専門的な知識と技術の向上を推進していきます。

みなさま顔なじみの方々と一緒に趣味活動等をされたりと、想いおみの時間を過ごされています。これからも地域の行事や季節を楽しめる場所へ一緒に出かけたいと思います。

春のお茶会



仲良しで足湯中



おいらん道中観覧



かご作りに挑戦



いい眺め。天領の里までドライブ

お花見



桜の前でおやつを食べました



満開の枝垂桜を
観に行きました



玄関前の桜も綺麗でした



大河津の河川敷も綺麗に咲いていました



お花見



桜を見ると自然と顔がほころびます

日々の様子



おいらん道中



暖かい日になってきました

グループホーム 我が家

我が家では、昨年より「お茶の間 我が家」を再開しました。毎月、地域の皆様と楽しく過ごせるよう考えております。ぜひ、我が家にお立ち寄りください。

手作りチョコ



愛の詰まった甘いチョコ♡



お茶の間 我が家



イチゴ大福を前に皆様笑顔



ボタン取り付け中



我が家の 日常



福餅・飯など



趣味の生け花

いつも甘酒作ってたのよー

小規模多機能ホーム こいけの家

暖かく穏やかな春がやって来ました。天気の良い日にお花見されたり、洗濯物を干されたり、春を感じながら日々を過ごされていました。



お花見に出掛けました



落語を聞きました



みんなで
体操しましょう



畑の準備をしました



感謝の気持ち



かわいいワンちゃん

大人気 ラーメン



出前でラーメンを食べました

グループホーム 縁の桜

今年も春の季節がやって来ました。皆さんと一緒に春を感じながら日々を過ごしております。節分や雛祭りも行い、皆さんとても笑顔で喜ばれていました。

お雛様



鬼は外、福は内！



節分の日



お雛様と一緒に記念写真



お弁当作り



お弁当を作って美味しく食べました



緑の桜

緑の玄関先に咲いてる桜がとっても綺麗です



グループホーム こいて

グループホームこいての近くに桜の木があり、桜を見にお散歩へ行きました。4月6日には弥彦湯かけ祭りへ行かれ楽しまれました。4月6日には弥彦湯かけ祭りへ行かれ楽しまれました。4月6日には弥彦湯かけ祭りへ行かれ楽しまれました。



こいての桜と一緒にハイチーズ！



天気がいい日にお散歩しました



皆様ボール遊びを楽しんでいます



いつもたたみ物をさせていただきます



湯かけ祭りでお祓いをしてもらいました



湯かけ祭りに行き皆様楽しめました

夢・キラリ職員紹介！



グループホーム 縁

介護職員 ファン・ティ・トゥ・タオ

私は母国を離れ、日本に来てからもう6年が経ちました。グループホーム縁に来た当初は日本語が分からず、毎日不安感と戸惑いの連続でした。ご利用者の気持ちを理解したくても、言葉の壁にぶつかっていました。

しかし、そんな時に支えてくれたのが、一緒に働く優しい職員の皆さんです。少しずつ言葉に慣れ、仕事にも自信が持てるようになった今では、毎日仕事が楽しみになっています。ご利用者が笑顔で「タオちゃん、頑張ってるね!」と言って下さり、とても嬉しく感じています。

今年の旧正月には久しぶりに帰国し、家族と貴重な時間を過ごしました。徐々に母国の料理を食べて、懐かしい友人と語り合うことで、多くの思い出を作る事が出来ました。これからも日々成長して、心のこもったケアを提供できるように頑張りたいと思います。



特別養護老人ホーム 分水の里

管理栄養士兼調理員 佐藤 七海

分水の里に勤めて3年目になりました。以前は委託給食会社で栄養士として働いていましたが管理栄養士資格を取得し勉強したことを活かせる職に就きたいと思い入職しました。周りの方々に支えていただきながら、ご利用者に食べることの楽しさを感じていただけるよう、日々仕事をしています。

私の実家は中華料理店で、写真は1番人気の「エビ塩ラーメン」です。たまに地域のマルシェに出店していますので見かけたらぜひ声をかけてくださると嬉しいです。

これからもご利用者に喜んでいただける美味しい食事を提供できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



グループホーム 我が家

介護職員 高井 万里那

私は、高校を卒業し桜井の里福祉会へ就職し、今年の4月でちょうど1年になりました。入社したころは介護の知識が全くなく、覚える事もたくさんある中、毎日が不安で日常の業務を覚える事で精一杯でした。そんな中、先輩職員の温かい指導のおかげで、徐々に介護の技術、知識を学ぶことが出来ました。また、ご利用者の笑顔や「おめさんじゃなきゃだめらて」等の言葉を頂くと、介護士という仕事を選んでよかったと思います。

休日の楽しみは、K-popアイドルのライブに行く事が楽しみです。

まだまだ、覚える事が沢山ありますが、ご利用者の皆様との時間を大切に、楽しく過ごせるよう、笑顔で頑張っていきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。



社会福祉法人桜井の里福祉会 本部

事務員 渡邊 美穂

一度退職しましたが、ご縁がありまた桜井の里福祉会で勤務させていただいております。早いもので8年が経ちました。戻ってきたころは配属先も違い分からないことだらけで、失敗することも多くありましたが、優しいご利用者の皆様、同僚に支えていただきながら今日まで続けてもらっています。

プライベートでは子供を出産し、子育てと仕事の両立に奮闘する毎日です。子供はこの春から小学生！子供のおかげで早寝早起きができたり、人が傷つくチクチク言葉を言わないなど私の方が育てられているような…本当に子育ては親育てだなと気づかされることばかりです。好きなキャラクターはポッチャマ（ポケモン）です！見つけたらぜひ教えてください。



特別養護老人ホーム桜井の里・事務所

事業所紹介

施設長、総括、生活相談員、施設管理、事務員の総勢8名が事務所で勤務しています。

今年4月に施設長が交代し、新しい体制となりました。事務所内は和やかな雰囲気中で、親切丁寧な対応を心掛けています。ご相談、お問い合わせなどありましたら、お気軽にお声がけ下さい。



玄関ホールには、法人創立25周年記念式典の際に書家の金澤翔子様に揮毫頂いた【共に生きる】を飾らせていただいております。離れて全体を見るのも良いですが、近くに寄ると力強い筆の動きも感じることができます。

季節に合わせた装飾も行っています。挽きたての美味しいコーヒーも飲むことができますので、お気軽にお立ち寄りください。



お問い合わせ

いつでも見学・お問い合わせお待ちしております。
特別養護老人ホーム 桜井の里 TEL 0256-94-3939



グループホーム こいて

介護職員 右近 奈津江

当法人に入社して14年目になります。コロナ過を乗り越えご利用者と行事や、外出を楽しんでいます。ご家族と面会ができない時は職員で家族のように接し信頼関係を築く事ができました。ご利用者からも「家族みたいなものだよね。」と言われた時は、ご利用者も私たちの事を信頼していただいているのだと改めて感じ嬉しくなりました。そんなご利用者に沢山の笑顔で過ごして頂けるように今後も務めていきたいと思っています。

私自身の元気の源は、年に1回は大阪にいる親友に逢いに行き、その後旅行に行く事です。近年は娘も一緒に行くようになり、若者がいなければ行かない所に行ったりしています。今現在は、ブルーインパレスの航空飛行を見に行く事を楽しみに日々を過ごしています。



特別養護老人ホーム 桜井の里 ショートステイあさがお

介護職員 井部 優

入社して1年10か月が経ち、ご利用者の皆様とは笑いなが絶えない毎日を送っています。そんな私の休日ですが、小学3年生の娘との時間を大切にしています。一緒におやつやご飯を作ったり、映画を観に行く事で日々の疲れを癒してくれています。

先日は『おしゃれ稲荷寿司』を作りました。私がご飯を詰めて、娘がうす焼き玉子、ハム、スライスチーズを使ってご飯の上に飾りつけをしました。途中で高校2年の長男と中学2年の次男も参戦し、計80個のおしゃれ稲荷寿司が完成しました。

このように毎日娘にデレデレな私ですが、パパっ子の今のうちに沢山思い出を作って行きたいと思っています。

この2ページは、職員の夢や思いに、あるいは法人の取組などにフォーカスしていくページですので、今後ともご声援どうぞよろしくお願いいたします。



デイサービスやひこ閉鎖のお知らせ

デイサービスやひこは「通所介護事業所」として平成17年2月に定員25名、弥彦村、燕市（旧分水町）、新潟市（旧岩室村）にお住まいの方を対象に開設されました。平成28年4月の介護保険制度改正にて地域密着型サービスが創設され平成28年10月からは「地域密着型通所介護事業所」として、事業者の所在する地域住民を対象に住み慣れた地域での生活を支えるため、定員を18名の小規模なサービスに形を変え、3月まで運営してまいりました。

この度、昨今の社会情勢や福祉ニーズの変化等により、令和7年3月31日をもってデイサービスやひこを閉鎖させて頂くこととなりました。これまで多くの皆様のご支援いただきありがとうございました。



開設当初の竣工式



閉所セレモニーの様子



最終日のご利用者と一緒に

岩手県大船渡市山林火災 DCAT支援活動について

令和7年2月26日に岩手県大船渡市で発生した山林火災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。今回の山林火災では住宅など建物被害は221棟に上り、現在でも約190人の方々が避難生活を送られています。

桜井の里福祉会では、3月3日から11日までの期間に、当法人の災害時緊急介護派遣チーム（DCAT）が2班に分かれ合計4人の職員が、大船渡市の避難所及び福祉避難所において避難された方の生活のお手伝いをさせていただきました。避難所は、子どもから大人、高齢者まで様々な方が避難しており、今回は通常の介護ケアのお手伝いではなく、お話しをお聞きする、一緒に生活環境を造る。そして、多くの支援団体を繋ぐことも大切な役割となっていました。被災された皆さまが1日も早く日常を取り戻し、復興されることを心より願っております。



宿泊施設より見えた大船渡市の火災の様子



避難所にて被災者も協力して段ボールベッド作り



避難所の個別テント



避難していた小学生が描いた黒板メッセージ

新年度式典を行いました

4月1日は新規採用職員の入社式（6名）、勤続25年（14名）・15年（11名）、昇格（10名）にて式典を執り行い、辞令交付に加え、該当の方には感謝状又は表彰状、さらに記念品をお渡ししました。



誓いの言葉 新採用職員を代表して デイサービスセンター桜井の里 生活相談員兼介護職員の丸山沙織さん（写真右）、グループホームつどいの家・桜町 介護職員のロック・ホアン・チャン・リンさん（写真左）が行いました。



編集後記

今年の冬は各地で大雪による被害、その後は全国各地で大規模な山林火災が相次ぎました。春の満開のさくらの風景を楽しみながら、自然の素晴らしさと怖さを季節の移り変わりとともに実感しています。

